

さんむ景観通信

第 12 号

平成 31 年 2 月発行

さんむ景観通信では、市民の皆様にご覧いただき、『景観』への意識をより高めていただくため、景観に関する様々な取り組みやイベントについて発信しています。



～第 12 号トピックス～

◆ 景観について

景観づくりは身近なところから誰にでもできます。あらためて景観とは何か振り返りましょう。➤1 ページ

◆ 「第 12 回 景観ワイワイ広場」開催報告

「さんむの魅力フォトコンテスト」応募作品をもとに、市内の景観資源めぐりをしました。➤2 ページ

景観とは？

広辞苑で「①風景外観。けしき。ながめ。また、その美しさ。②自然と人間界のことが入りまじっている現実のさま」とされているように、単に海や山などの自然を指しているだけではなく、自然と人間の行為（里山や森林の手入れを行う、道路や建築物を建設することなど）を合わせた環境として捉えています。

景観の良い、悪いは眺めの対象の状況と、眺める人の感じ方（印象・価値観）との関係性で変わります。

景観づくり～誰でもできます～

景観づくりとは、景観に配慮した取り組みのことです。

家などを建てる際に、周辺のまちなみや自然と調和するように配慮したり、里山・谷津田の保全・再生活動や、まちの緑化・美化活動なども景観づくりの一つで、景観づくりは、自宅でも、誰にでもできます。

「景観づくりの視点」をヒントに、身近なことから始めてみませんか。



「景観づくりの視点」

身近に景観を感じる

- ・ 徒歩や自転車で市内を散策する
- ・ 生き物や植物等、自然を観察するなど



自ら体験・実践する

- ・ 市内の景観資源を見て回る
- ・ 良い景観、改善すべき景観を考えるなど



景観の状況を知る

- ・ 庭先の掃除、美化をする
- ・ 市外から訪れた人に地域を案内するなど



取り組みの輪を広げる

- ・ 近所の人に声をかける
- ・ より多くの活動やイベントに参加するなど

市では景観について考え、体験する場として「景観ワイワイ広場」を開催しています。

身近なことからできる景観づくりの参考として参加いただければいかがでしょうか。次のページでは第 12 回景観ワイワイ広場（「さんむの魅力再発見の旅」～フォトコンテスト応募作品から探る、さんむの景観資源～）の開催内容についてご報告します。

■ 第 12 回景観ワイワイ広場開催報告 ■

「さんむの魅力再発見の旅」～フォトコンテスト応募作品から探る、さんむの景観資源～

九十九里浜やサンブスギなどの自然的景観、広大な田園、屋敷林に囲まれた集落地など、市内にはさまざまな景観があります。第12回景観ワイワイ広場では市バスで秋のさんむの景観資源めぐりをしました。

■ 日 時 平成30年11月17日(土)
9時～15時

■ 内 容 景観資源めぐり

■ 参加者 11名

～景観資源めぐりコース～

午前は成東・山武地区、午後は松尾・蓮沼地区を中心に回りました。



「ちは眺望100景」にも選出されている成東城跡公園を見学しました。広場からの眺望を見ていただきました。



長光寺を見学しました。写真はしだれ桜です。これからの季節が見頃ですので、あらためて訪れていただきたいです。



平成30年3月にオープンした蓮沼交流センターを見学しました。施設の職員の方に案内をしていただきました。



蓮沼交流センター屋上の避難スペースも見学しました。施設のことを知っていただく機会になったと思います。



さんぶの森公園グリーンタワーの展望室より眺望を楽しみました。



さんぶの森公園内にあるサンブスギを使用した防災備蓄倉庫です。



最後に本須賀海岸を見学しました。季節ごとに景観を楽しめます。

～午前～
成東城跡公園、さんぶの森公園、
長光寺・妙宣寺、植草・森地区

～午後～
松尾町小川地区、蓮沼交流センター、
本須賀海岸

～参加者の皆さんの声～

① 成東城跡公園

- ・太平洋の眺めに感動した。
- ・公園内からの眺めをもっと多くの人に知ってもらい、広く訪れる人を増やせば良いと思った。

② さんぶの森公園

- ・天気も良く、初めてグリーンタワーの展望室に行けた。
- ・展望室からの眺望が良かった。

③ 植草・森地区

- ・山武市の奥深さを知ることができた。
- ・自然と昔の姿が未だに残っていて懐かしさを感じた。
- ・今まで通ることや行ったことが無い場所だった。こんな所があるのだと思った。

④ 蓮沼交流センター

- ・津波対策をしている施設の見学が参考になった。

・一日で山武市全域を回ることが出来、有益に時間を過ごすことができた。

・山武市は山地あり、海地あり、市街地あり、また寺も多くあり、素晴らしい景観がある。山武市は良い所だと実感した。

・山武市の奥深さを知ることができた。

・田畑の緑が大変良かった。

・人脈ができ、楽しく見学ができた。

・大変参考になり良かった。

・山武市内の今まで知らなかった素晴らしい所を知ることができた。

開催当日は好天に恵まれ、秋晴れとなり、山武市の広さや地域ごとの特徴などを感じられたのではないかと思います。景色の移り変わりや地域の祭り、イベントなど、四季を通じて感じられるさまざまな魅力を皆さんも感じてみてください。

さんむ景観通信 第12号(平成31年2月発行)

発行者 山武市 都市建設部 都市整備課 (〒289-1392 山武市殿台296番地)

電 話 0475-80-1191 / E-mail toshiseibi@city.sammu.lg.jp / ホームページ <http://www.city.sammu.lg.jp/>

